

はじめに

宝塚市制50周年を迎える記念の年に、今後の福祉の新しい取り組みをめざした「宝塚市地域福祉計画」が、市民の皆様のご理解とご協力でここに策定できましたことは意義深いものと考えております。

我が国の福祉は、主に行政による限られた人に対する保護や救済といった形で展開してまいりましたが、高度経済成長を経て成熟期を迎えた今日、急速な少子・高齢化、家庭機能の低下、地域コミュニティの変化など社会環境が大きく変化し、今までの行政による福祉サービスの提供だけでは、安心して暮らしていくことが難しくなってまいりました。こうした社会変化に対しては、介護保険制度の創設などのように、福祉サービスを個人の自立支援や利用者による選択の尊重、サービスの効率化の視点から提供する制度へと改革が行われましたが、すべての人が住み慣れた地域のなかでいつまでも安心して暮し続けることができるようにするためには、地域住民、社会福祉協議会、社会福祉事業者、行政などすべての人が、それぞれの責任を果たしながら協働して住みやすい福祉コミュニティを創り上げていく必要があります。

この計画では、そのためにどういった取り組みが必要なのか、また、その取り組みをだれが実行していくのかを明らかにしておりますが、今後はこの計画をもとに、地域の資源を活かした地域福祉活動が展開されることを期待しております。また、行政も各部局が連携して地域福祉の推進に取り組むとともに、地域住民による地域福祉活動を支援してまいります。

「希望あふれるまち宝塚」～すべての人がいつまでもその人らしくいきいきと暮らせるまち～を合い言葉に市民と行政などが協働していつまでも住み続けたいまち宝塚を創ってまいりましょう。

最後になりましたが、この計画の策定にあたり、地域ごとの生活課題を明らかにした素案を創っていただきました、「宝塚市地域福祉計画140人委員会」の委員の皆様、そしてその素案をもとに本計画の策定に向けて、議論を重ねていただきました「宝塚市地域福祉計画策定委員会」の委員の皆様に対し、その熱意とご苦勞に敬意を表しますとともに、お礼を申し上げます。

宝塚市長 渡部 完

